

共につくる喜び

代田中学校

令和7年12月17日 No.11

長距離走・駅伝大会



12月12日(金)、校内長距離走・駅伝大会を開催しました。
強風の吹く中での大会でしたが、参加したみなさんは、ゴールを目指して自分のペースで一步一步、着実に前に進んでいました。苦しいけれど、最後まで走りきろうとしている姿は、とてもたくましかったです。走り終わった後、互いの健闘を称え合っている姿も素敵でした。残念ながら体調が悪いなどの理由で、参加できない人もいました。その人たちも、しっかり声援を送って、走っている人を支えていました。長距離走というつらい競技に対しても、クラスの仲間と気持ちを合わせて一生懸命取り組む姿がたくさん見られた、素晴らしい大会となりました。
保護者の方にも名前を呼んだり、拍手をしたりして応援していただきました。ありがとうございました。



レインボー賞授賞式

12月10日～3日間、レインボー賞の授賞式がありました。レインボー賞とは、なかなかできない行いをしたり、学年や学級の目標に沿って努力を継続したりした生徒を表彰するものです。2学期は、さまざまな行事で頑張った生徒、あいさつやボランティアで頑張った生徒など、各学年50名ほどが表彰を受けました。受賞者の皆さん、おめでとうございます！



人権集会

12月1日（月）に、人権週間^{じんけんしゅうかん}に先駆けて^{さきがけ}、前南部中学校校長の西川真治先生^{こうし まね}を講師としてお招きし、「人と人がわかりあうために」をテーマに講演をしていただきました。

「友達」や「家族」などと、どのくらい理解^{りかい}し合えるかの確認^{かくにん}の後、人との関わりの中で、相手が何を考えているのかを考えて接する（他人の靴^はを履^はいてみる）ことの大切さを、映像や漫画などの内容も織り交ぜながら、和やかな口調^{くちよう}でお話していただきました。

最後に、代中生へ

- ① 代田中学校の生徒全員が、他人のことをしっかりと考えられる人になってほしい
- ② 代田中学校全員が夢がもてる学校にしてほしい
- ③ 夢をもっている友達がいたら、それを応援^{おうえん}できる人になってほしい
- ④ 何か一つのことに取り組むとき、全員で力を合わせることができる学校になってほしい

という宿題が出されました。

講演後の振り返りからは、「シンパシー（感情^{かんじょう}）」ではなく「エンパシー（他人の感情^{かんじょう}や経験^{けいけん}などを理解^{りかい}する能力^{のうりよく}）」を心がけて人と接していきたい、という感想が多く見られました。



手作り弁当の日



12月10日（水）は、手作り弁当の日でした。

この活動は、「今までの食に関する知識^{ちしき}を応用^{おうよう}して弁当作りに関わる」、「弁当作りに関わることで、食物や人への感謝^{かんしゃ}の気持ちを持つ」ことをねらいとして、長年続けられている取り組みです。

朝、玄関に立っていると、3年生の生徒の、「〇〇君が〇〇先生のキャラ弁作ってきた！」という会話^{かいわ}が耳に入ってきました。このイベントを楽しんでいる生徒がたくさんいることを感じました。弁当の時間は、さぞ盛り上がったことでしょう。

保護者の皆様には、弁当作りへのご協力^{きょうりょく}ありがとうございました。

